

増加するフィットネスクラブ会員 売上高68億円へ

今年もダイエット，アンチエイジング，メタボリックシンドロームの話題が盛んでした。

特に，軍隊の基礎訓練をベースにしたという短期集中型エクササイズの「ビリーズブートキャンプ」が一大ブームを引き起こしました。

このような，健康志向を背景に個人会員や売上高が伸びている民営フィットネスクラブの経営状況を見てみましょう！

2005年11月現在，我が国には1,881の民営フィットネスクラブがあります。ここ3年間で173クラブ増加しております。茨城県内では，30クラブあり，水戸市，土浦市を中心に常磐線沿線の主要都市に多く立地し，02年の25クラブから3年間で5クラブ増加しております。

年間売上高を見ると約67億6千万円。会費収入が約70%を占めており，次いでスクール収入が17%となっています。スクール事業は急成長しており，優秀なインストラクターの育成・確保や静的な動きのピラテスやヨガなどのメニューの充実によって競争力を高めて行くことが今後の集客の課題となっております。

年間延べ利用者は379万人と3年間で66万人（21%）増加しております。

個人会員も約7万人を超えています。男女別の構成比は女性55%，男性45%となっており，年代別構成比はスイミングやフットサルなどを利用する20歳未満が37%と最も多く，次いで30歳代が15%となっております。今後，団塊世代のリタイア層などの取り込み策として，事業者は温浴施設の整備や施設のバリアフリー化を考えているようです。

都道府県別にみると東京247クラブ（構成比13%）大阪153クラブ（8%）福岡116クラブ（6%）の順で大都市に集中しています。年間売上高も東京が840億円（22%）と最も大きくなっています。

売上高100億円を超えるのは8都府県。前回の02年と比較して売上が増加したのは37道県。そのうち，20%以上増加したのは茨城を含む24道県。一方，減少したのは10府県。茨城県はクラブ数で17位，売上高で12位となっております。

表 フィットネスクラブの推移（民営）

	茨 城 県			全 国
	平成10年 (1998)	平成14年 (2002)	平成17年 (2005)	平成17年 (2005)
クラブ数（民営）	26	25	30	1,881
従業者数	869	1,032	1,286	64,502
指導員数	574	718	880	45,250
年間売上高（百万円）	4,861	5,441	6,762	385,770
年・月会費収入	3,590	4,007	4,643	283,486
スクールの収入	x	608	1,120	37,076
食堂・売店売上	x	311	357	18,954
年間延べ利用者数（人）	2,696,940	3,129,633	3,794,281	219,000,780
会員数（法人）	4,138	1,513	852	39,273
（個人：スイミングを含む）	53,685	52,380	70,348	3,853,178
個人会員月会費（円）	2,308	8,469	8,328	8,133
1事業所あたり年間売上高（万円）	18,696	21,765	22,539	20,509
1事業所あたり年間利用者（人）	103,728	125,185	126,476	116,428
1従業者あたり年間売上高（万円）	559	527	526	598



*資料：特定サービス産業実態調査（経済産業省）

*事業所の数値は母集団でなく集計件数（回答率05年100%）

*フィットネスクラブ＝室内のプール，トレーニングジム，スタジオを有し，トレーナーなど指導者がいる。スイミングクラブのみの事業所は調査対象外。国，公共団体の直営クラブも調査対象外となる。

※前10月号に掲載した結婚式場業に数値などの誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

- ①拳式形態別のキリスト教式68%を72%へ ②拳式・披露宴売上高 山梨374万円を372万円へ
③同行2位福島を山形へ ④8行目「を一括請負業者」を「会場を有する業」へ訂正となります。